



『防災講演会』のご案内

『東日本大震災の初動と実際』

NPO 法人都市災害に備える技術者の会では、防災講演会を下記のとおり開催いたします。

今回は滋賀県土木交通部技監 池口 正晃氏をお招きして、国土交通省東北地方整備局在職中の経験をもとに「東日本大震災の初動と実際」について、具体的に紹介していただきます。

日常業務多忙のこととは存じますが、万障お繰り合わせの上ご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

主 催：NPO 法人 都市災害に備える技術者の会

後 援：日本技術士会近畿本部建設部会

日本技術士会近畿本部防災研究会

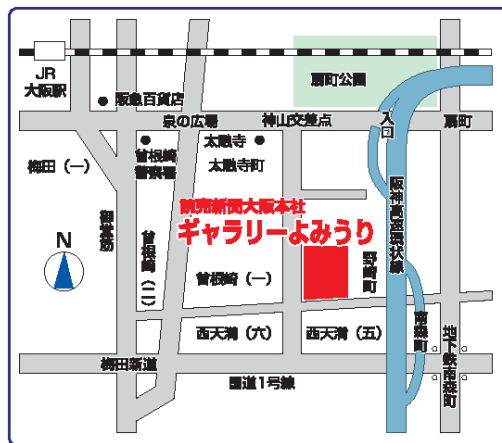
泉南市防災技術者の会

日 時：平成 28 年 6 月 26 日(日)13 時 30 分～16 時 30 分

場 所：大阪市北区野崎町 5 番 9 号

読売新聞大阪本社 「ギャラリーよみうり」

電話：06-6361-1111



テーマ：『東日本大震災の初動と実際』

講 師：滋賀県土木交通部技監 池口 正晃氏

参加費：無料

申込期限：平成 28 年 6 月 23 日 但し、会場の都合により先着 100 名とさせていただきます。

『防災講演会』 参加申込書

NPO 法人都市災害に備える技術者の会 防災講演会に参加申し込みます。

申込日 平成 28 年 月 日

氏名		所属	主催、後援団体所属の方のみ記入
勤務先		電話番号	
メールアドレス			

【申込先】NPO法人都市災害に備える技術者の会 事務局 太田宛

E-mail：office@toshisaigai.net

Fax：078-907-3123

『防災講演会』

「東日本大震災の初動と実際」

講師：池口 正晃氏

滋賀県土木交通部技監

平成 28 年 6 月 26 日(日)
13 時 30 分～16 時 30 分

場所：ギャラリーよみうり

大阪市北区野崎町 5 番 9 号

電話：06-6361-1111



【講師略歴】

1968 年京都府生まれ。1994 年(平成 6)建設省
(現、国土交通省)入省。
土木研究所研究員、
近畿地方整備局道路計画第一課長、
道路局企画課課長補佐
東北地方整備局福島河川国道工事事務所長
同企画部企画調整官
道路局企画課道路事業分析評価室企画専門官等
を経て、平成 27 年 7 月より現職。



【講演概要】 ～備えていたことしか、役には立たなかった。備えていただけでは、十分ではなかった。～

今回の講師は、東日本大震災当時の東北地方整備局企画調整官であり、被災地支援のために派遣されたリエゾンのとりまとめ責任者として対応しました。

ご承知の通り、東日本大震災では、大津波が太平洋沿岸の市町村を襲い、壊滅的被害を与えました。これを受け、国土交通省は、交通路の「啓開」、広域の緊急排水、被災地へのリエゾン派遣、省の所管を超えた物資調達など、従来の災害マニュアルを超えた対応を行いました。どのような経緯からそれらの行動が移されたのか、またその対応を实际行った者の心情・苦悩はどうだったのかなど、当時の被災地の状況を探り、聴講者に疑似体験して頂く事が、今回の講演の大きな狙いになっています。

災害から 2 年後に東北地方整備局が発行した「災害初動期指揮心得」では、この災害対応で得られた「過去の災害を真剣に研究して備えたことだけは実際に役立つ」、「各々で変化する災害の様相にあわせた臨機応変の対応が必要」という教訓を、次の言葉で表現しています。

「備えていたことしか、役には立たなかった。備えていただけでは、十分ではなかった。」